

1 概況

知多西部地区および西三河地区では冷蔵網1～5回目の摘採をしています。東三河地区では、第6回共販への出荷後、ほとんど青のり生産へ移行しています。先週に引き続き、知多東部地区では色落ちが続いているため、生産が行われていません。栄養塩は、知多西部地区の北部と西三河地区では増加傾向にあります。知多半島南部の栄養塩は少ない状況が続いていますが、伊勢湾側の漁場では、のり葉体の色調は若干回復傾向にあるとの声も聞かれています。植物プランクトンは知多地区では目立って増加していませんが、西三河地区では増加している漁場があります。気象庁によると、週末は降雨が予想されていますので、今週はじめよりもまとまった量となることを期待したいところです。漁期は終盤に差し掛かってきます。早期摘採を心がけ、網を健全に保っていきましょう。

2 気象・海況

<b>&lt;水温&gt; 2月17日</b>			<b>&lt;水温&gt; 2月18日</b>			<b>&lt;潮位偏差&gt; 2月17日</b>		
1～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.3 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温	8.6 °C	名古屋港	日平均偏差	+16 cm
	平年差	+0.2 °C		平年差	-0.7 °C		5日平均偏差※	+24 cm

※2月13日～17日までの平均

**<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)**

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	北部:多い～やや多い、中南部:少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東部地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない
西三河地区	多い～やや少ない	なし	植物プランクトンは散見～ほとんどいない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: μg/L) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

**<気温動向の予測> (気象庁予報より)**

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低いですが、期間の中頃は平年より高い日もあるでしょう。降水量は、平年より多い見込みです。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病被害 その他
知多西部地区	冷蔵:1～4回	600～1,600枚	色調回復傾向あり 一部でやや穴、C	一部でカモ	一部の漁場で 生産見合わせ
知多東部地区	-	-	-	-	生産見合わせ中
西三河地区	冷蔵:4～5回	500～1,000枚	色調回復傾向あり 一部でやや穴	ほぼ終息	あかぐされ病散見
東三河地区	秋芽:6回	500～2,000枚	色落ち (一部色あり)	なし	大半が青板生産へ移行

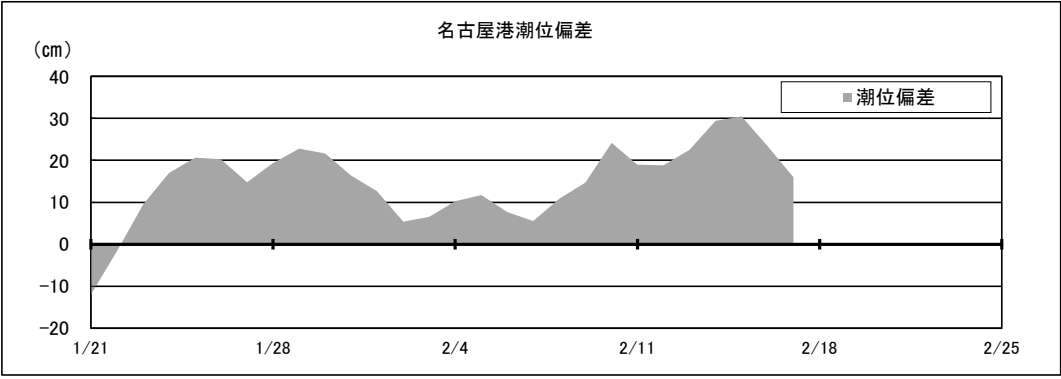
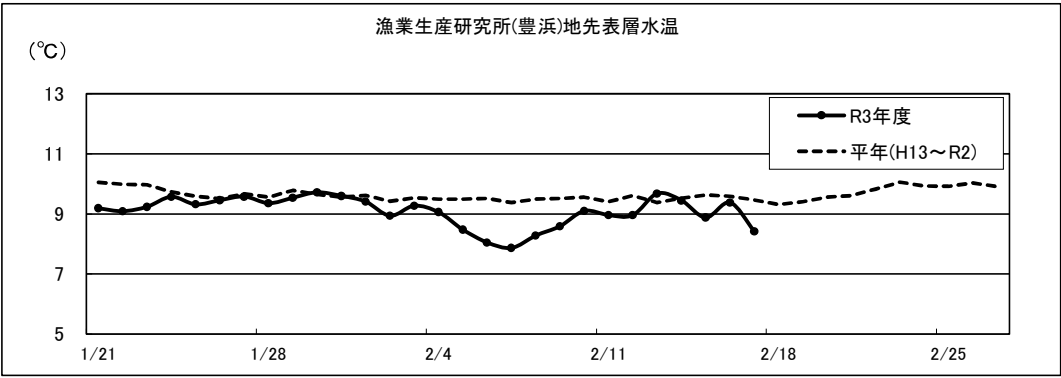
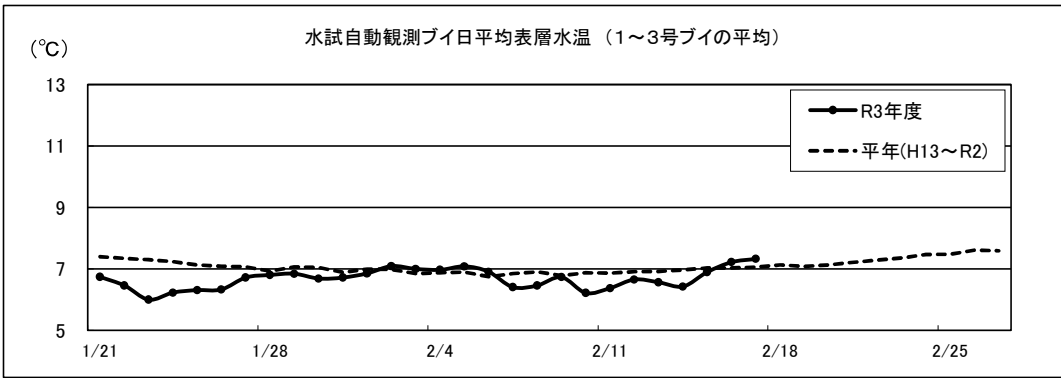
4 今後の管理

- あかぐされ病及び色落ち予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。
- 次年度に使用する種苗は、地先での養殖成績を参考に、早生と晩生を混合すること。

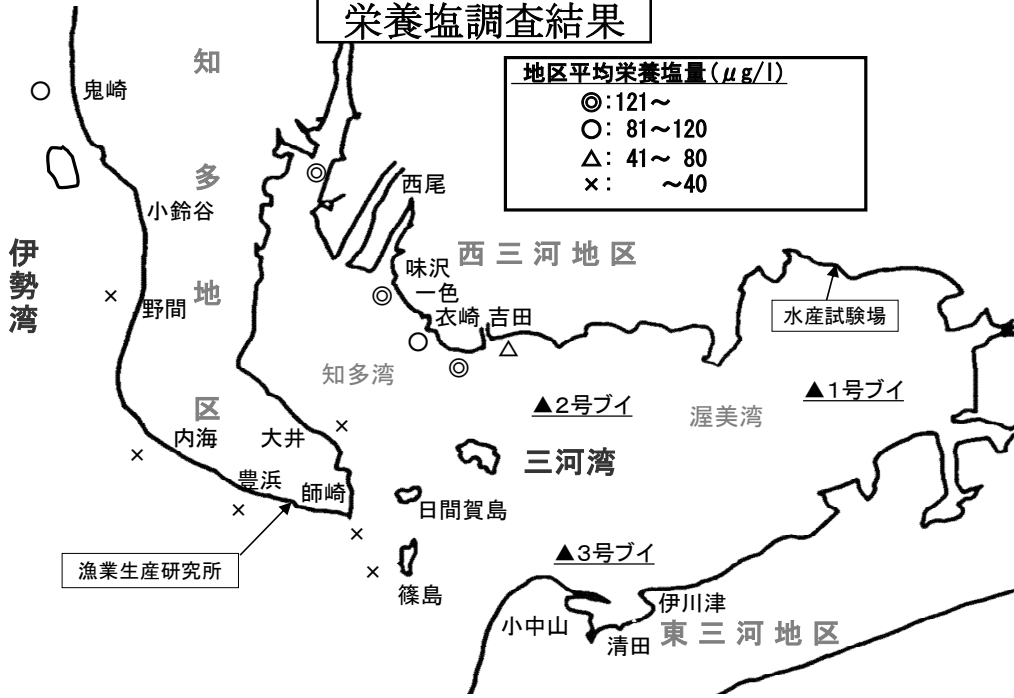
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ  
次回は2月25日(金)発行予定です。

# 伊勢湾・三河湾海況データ



## 栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多、西三河: 2月17日 (木)  
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会